

東海地方の陸水に関する学際的・多主体フォーラム 第35回東海陸水談話会

場所: 愛知工業大学本山キャンパス 2階多目的室

<http://www.ait.ac.jp/access/motoyama/>

〒464-0807名古屋市千種区東山通1-38-1

時間: 10月18日(金) 18:30～20:00

申込不要, 参加費無料

談話 1

「いなかの川」の河川管理の現状 ー人口減少社会における自治的河川管理の可能性ー

坂本貴啓 (土木研究所 水環境研究グループ 自然共生研究センター)



本談話では「いなかの川」の河川管理について紹介する. ここでいう「いなかの川」とは村落地域の小河川のように, その流域に人口が少ない川のことを指す. いなかの川では, 財政体力の低下によって管理水準が低下傾向にある. そのような状況下でも自治的な河川管理が行われている地域も存在する. それらの事例から自治的な河川管理の実現に必要な要因を考え, 人口減少社会における国土管理について議論したい.

談話 2

陸水および浅海・干潟底泥における鉄・マンガンの挙動とその環境指標

宇佐見亜希子 (名古屋大学 減災連携研究センター 非常勤研究員,
愛知工業大学 土木工学科 非常勤講師)



本談話では, 水中や底泥における鉄・マンガンの形態を調べることで, 環境中の汚染状況を明らかにできることを紹介する. 水域にて酸素濃度だけでなく鉄・マンガンの形態や量を調べ, 酸化還元の状態を示す方法である. 富栄養湖の深見池(2009年～2010年), 藤前干潟(2009年), 中部国際空港周辺の浅海域(2003年～2008年)での研究成果を紹介する.

本講演は、土木学会継続教育(CPD)制度のプログラムとして申請中です(1.5単位の予定)
講演の撮影・録音はご遠慮ください. 駐車場はありません. 公共交通機関でお越しください.

問い合わせ先: 日本陸水学会東海支部 事業担当幹事 椿: rtsubaki@gmail.com

支部HP: <http://rikusui-tokai.sakura.ne.jp/>